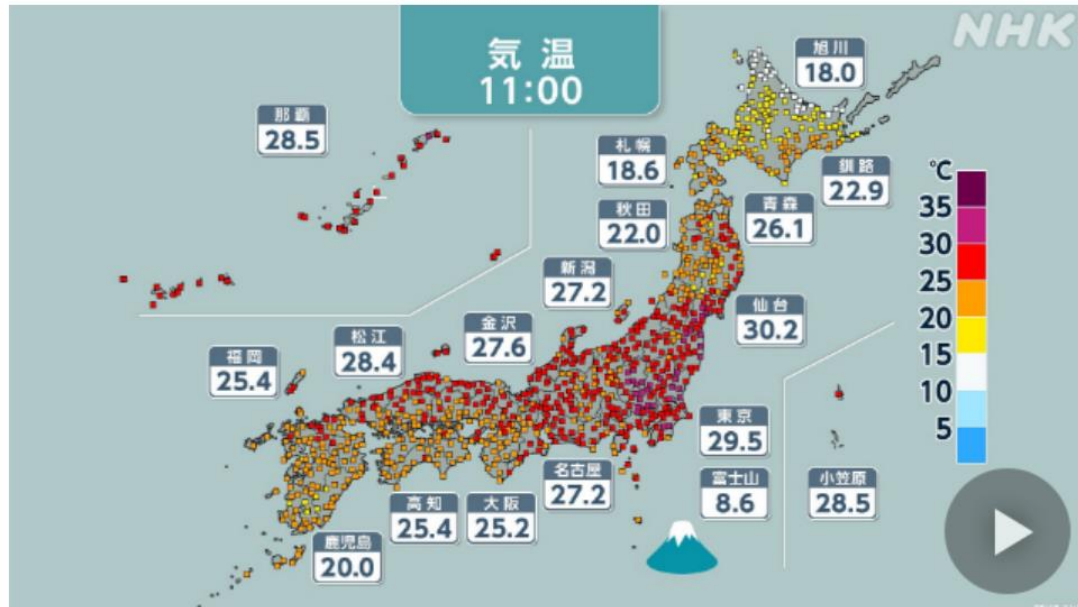


熱中症とSDH

看護研究科公衆衛生看護学上級実践コース修士1年

23MN008 小幡美乃

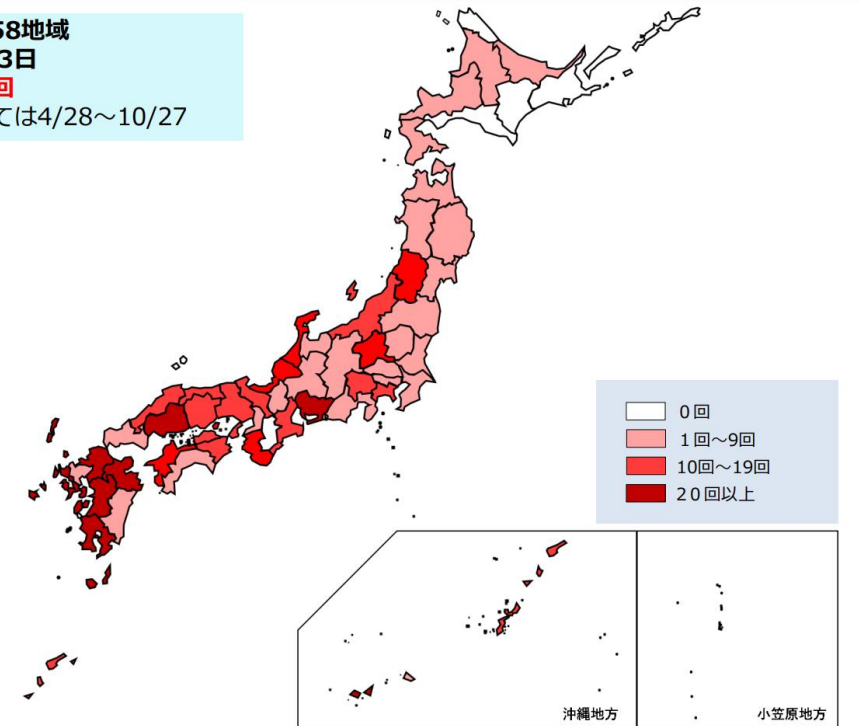
熱中症発生状況



広範囲で真夏日に 関東内陸部では猛暑日予想 熱中症に注意を

令和3年夏の全国における熱中症警戒アラート発表状況

発表地域: 53地域/58地域
発表日数: 75日/183日
延べ発表回数: 613回
※いずれも期間としては4/28~10/27



このテーマを取り上げた理由

熱中症予防対策にはセルフケア関連のものが
多い。

テレビや新聞など様々な媒体で
予防策訴えているのに
熱中症患者が減少しないのは
なぜ？

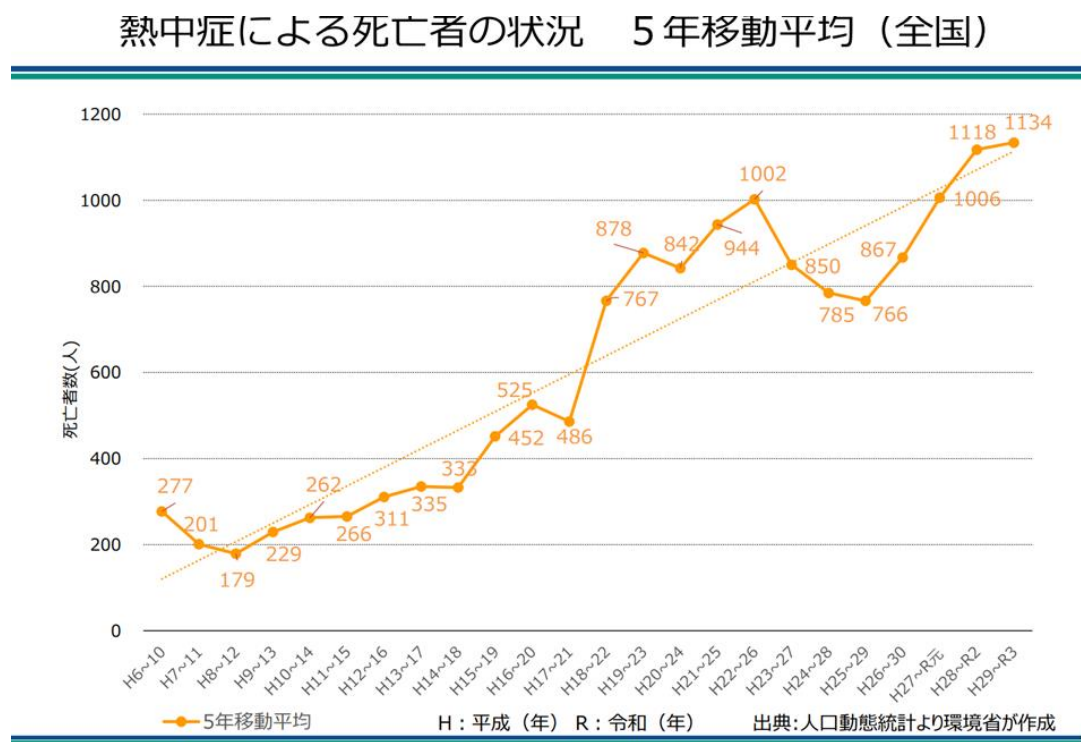
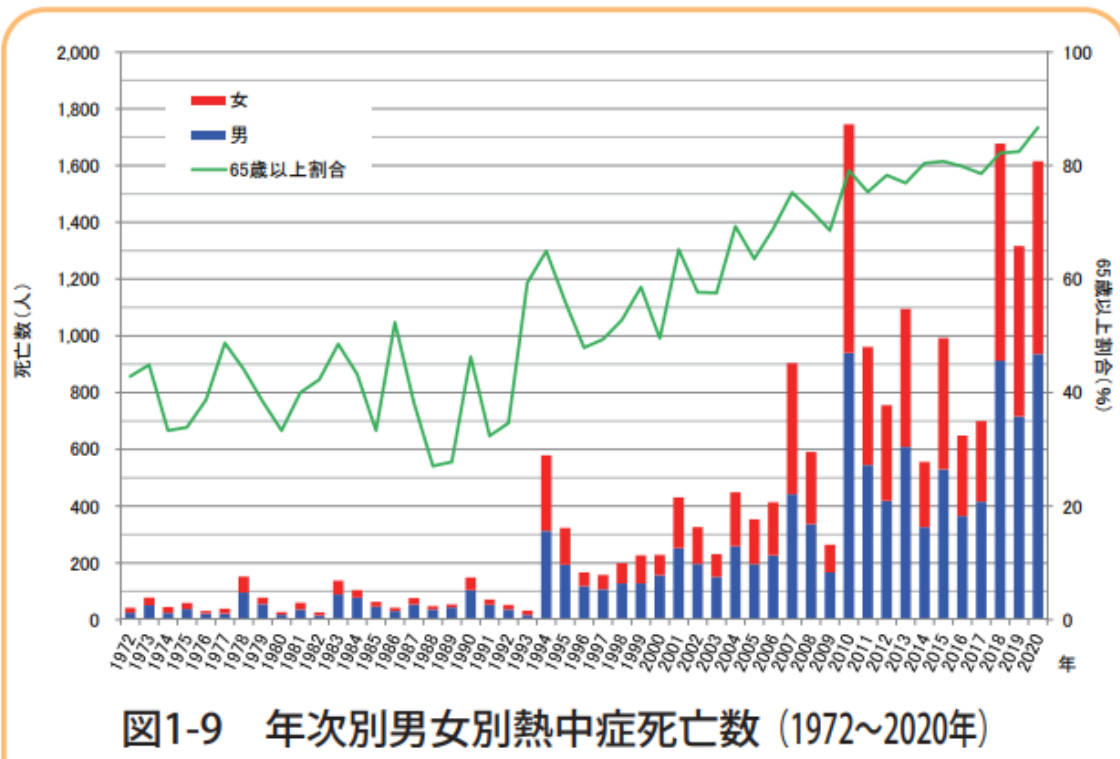
⇒ SDH（健康の社会的決定要因） 関連しているのでは



SDH 10の要因

- ①社会格差
- ②交通
- ③社会的排除
- ④食品
- ⑤薬物依存
- ⑥労働
- ⑦ストレス
- ⑧失業
- ⑨幼少期
- ⑩ソーシャルサポート

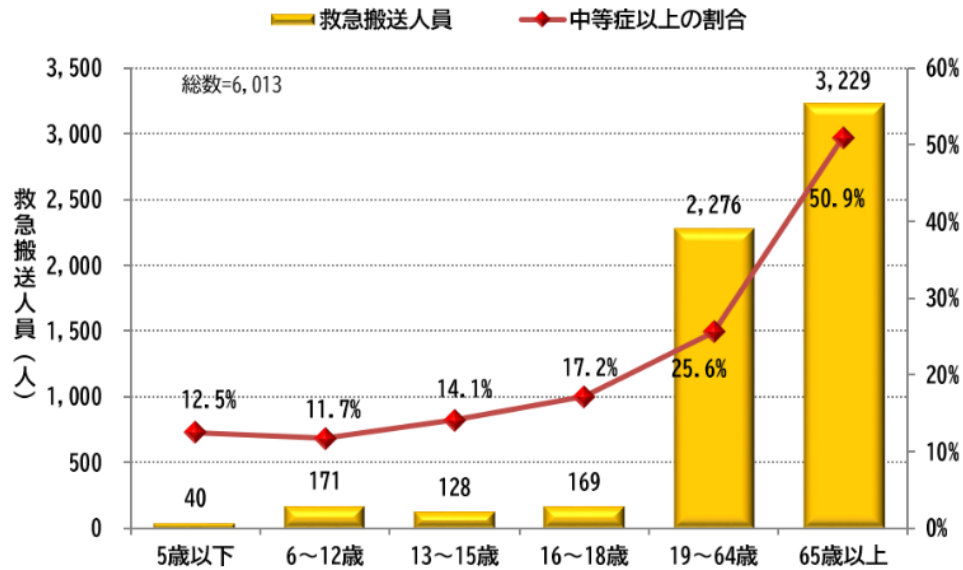
熱中症患者発生 の傾向



熱中症による死亡者は**増加傾向**にある
 2018年~2020年まで3年連続**1000人**超え
 熱中症死亡65歳以上の高齢者の割合は、1980年33%、2000年50%、2020年**87%**と**急増**

高齢者の熱中症患者発生状況

令和3年10月31日検案時点までの東京都23区における熱中症による屋内死亡者の状況



エアコン設置有無・使用状況別

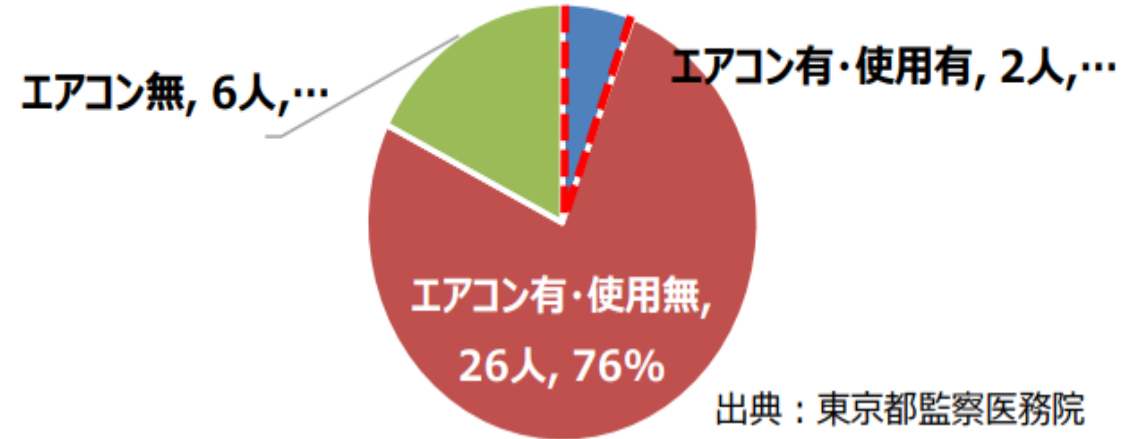


図8-2 年齢区分別の救急搬送時の初診時程度と中等症以上の割合 (令和4年6月~9月)

年代別の熱中症による救急搬送者最多

- ・ 中等症以上で搬送される者
 - ・ 自宅で発生する患者
- が半数を超える

屋内で死亡した者の内、**約9割はエアコンの使用なし**

高齢者の熱中症要因



身体面：

- ・ 「暑い」と感じにくくなる
- ・ 行動性体温調節が鈍る
- ・ 発汗量・皮膚血流量の増加が遅れる
- ・ 発汗量・皮膚血流量が減少する
- ・ 体内の水分量が減少する
- ・ のどの渇きを感じにくくなる

社会面の要因

・ 独居の増加

SDH
⑩ ソーシャル
サポート

⇒ 救急車を呼ぶことができない、
水分補給等の呼びかけをする者
がない

・ 生活困窮者の増加

SDH
① 社会格差

⇒ エアコンが設置されていない、
つけられない

熱中症にかかるか、熱中症になってから医療にアクセスできるかどうかといった健康に関わる問題に年齢的な身体機能だけでなく、周囲の協力や経済力といったその人の持っている「資源」の有無で格差が生まれる

まとめ



- ・ 熱中症の発生や重症化には個人の要因だけでなく、**社会的**な要因も関係している
- ・ **ソーシャルサポート**として家族や近隣住民に電話や声掛け等で安否確認を行なってもらう呼びかけや、**社会格差**への支援としてエアコン購入費助成事業を全国的に広めるなど、社会的にその**格差**が生じないように働きかけていく必要がある

参考文献

- NHK. <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230618/k10014102641000.html>. [2023-06-19]
- 環境省. https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_1-3.pdf. [2023-06-19]
- 環境省.
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/kentoukai/nettyusyou/r4part1/r4part1_shiryo1-3.pdf. [2023-06-19]
- 東京消防庁.
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/topics/season/toukei.html>. [2023-06-19]
- 厚生労働省.
https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000164399.pdf. [2023-06-19]
- 江戸川区. <https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e042/kenko/fukushikaigo/sekatsuhogo/aircon-support.html>. [2023-06-19]